道立林業学校を芦別に

7

芦別市はこれまで、芦別市北海道立林業学校設立・誘致期成会および芦別市議会と連携を図り、官民一体でさまざまな活動を行いながら、北海道立の林業学校の設立と本市への誘致を訴えてきました。

北海道は、林業大学校などの教育機関の設立について、有識者による検討会の議論を踏まえ、昨年11月に「北海道の森林づくりを担う人材育成機関のあり方に関する基本的な考え方」を公表し、林業大学校などの人材育成機関の概要を示しました。

道内各地で誘致の動きが活発化

この「基本的な考え方」の中に、想定される今後のスケジュールとして、平成32年度の開校に向けて、「基本構想」を平成29年度末までに策定することが盛り込まれたことから、昨年末に網走東部地域で、今年2月には上川北部地域でも新たな誘致期成会が立ち上がるなど、芦別市がいち早く訴えてきた林業学校の必要性が改めて認識され、全道各地で誘致活動が行われています。

「オール芦別」で誘致活動を継続

林業学校の設置場所の公表時期は、現時点では明確になっていませんが、ぜひとも本市に誘致できるよう、「オール芦別」での誘致活動を継続していますので、引き続き市民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。

■他地域の動向

（新たな期成会の発足）

平成29年12月末	北見市、網走市、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、訓子府町、置戸町、佐呂間町、大空町が網走東部流域「林業大学校等人材育成機関」誘致期成会を発足
平成30年２月５日	名寄市、下川町、中川町、美深町、音威子府村が上川北部誘致期成会を発足

●道立林業学校誘致に関する問い合わせ／企画政策課

市長だより

11

市民の皆さんこんにちは。この冬は例年にない大雪で、除雪など大変なご苦労があったかと思いますが、これからの融雪期には屋根からの落雪等に十分ご注意ください。

２月３日、国立大学法人旭川医科大学と本市との連携に関する協定を締結しました。これは、２０２０年東京オリンピック・パラリンピック開催を機に、スポーツ振興等への取り組みを進める際に相互の資源を活用し、連携・協力体制を構築することを目的としたもので、本市にとっては、市民の皆さんの健康増進やスポーツの振興、合宿の里事業の推進にも寄与し、地域活性化につながるものとして、期待をしています。

さて、３月は新年度予算を審議する定例市議会が開かれます。予算編成にあたっては、将来の財政負担に考慮しながら財源を必要に応じて効率的に配分し、市民の皆様に満足いただける行政サービスの提供ができるよう意を用いましたが、多岐にわたる市の予算は、芦別の未来を確かなものへとつなぐ重要なものだけに、議会における活発な議論はもちろん、市民の皆さんのご理解も大切と考えています。

改めるべきものは改め、守るべきものは守るという「不易流行」のまちづくりに心がけながら、「行財政改革の推進」と「芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を施策の中心に据え、さらなる芦別の価値を高め、本市の成長につながるよう市政を進めていきたいと考えています。

芦別市長　荻原　貢

昨年10月から本市の事務事業の適切なあり方について検証、議論を重ねてきた「芦別市行政改革推進委員会」（稲津寿一委員長＝写真中央）が提言書の第１弾をまとめ、２月16日に提出されました